



### 神奈川県奥湯河原温泉

神奈川県足柄下郡湯河原町宮上776

0570-026577 (10:00~18:00)

E-mail:tbk-info@noguchi-k.co.jp

http://www.tubaki.net



公式ホームページ



Facebook



Instagram

### 野口観光グループ <https://www.noguchi-g.com>

TEL 0570-026570

登別

#### ■石水亭

〒059-0596 FAX (0143)84-2269  
北海道登別市登別温泉町203-1

#### ■望楼 NOGUCHI 登別

〒059-0551 FAX (0143)84-2477  
北海道登別市登別温泉町200-1

TEL 0570-026573

函館

#### ■湯元 啄木亭

〒042-0932 FAX (0138)59-5383  
北海道函館市湯川町1丁目18-15

#### ■望楼 NOGUCHI 函館

〒042-0932 FAX (0138)59-5379  
北海道函館市湯川町1丁目17-22

#### ■HAKODATE海峡の風

〒042-0932  
北海道函館市湯川町1丁目18番15号

TEL 0570-026572

層雲峡

#### ■朝陽亭

〒078-1795 FAX (01658)5-3054  
北海道上川郡上川町層雲峡温泉

#### ■朝陽リゾートホテル

〒078-1701 FAX (01658)5-3922  
北海道上川郡上川町層雲峡温泉

TEL 0570-026574

北湯沢

#### ■緑の風リゾート きたゆざわ

〒052-0316 FAX (0142)68-5519  
北海道伊達市大滝区北湯沢温泉町300-2

#### ■きたゆざわ 森のソラニワ

〒052-0316 FAX (0142)68-6500  
北海道伊達市大滝区北湯沢温泉町300-7

#### ■湯元 ホロホロ山荘

〒052-0316 FAX (0142)68-6500  
北海道伊達市大滝区北湯沢温泉町34

定山溪

TEL 0570-026575

#### ■章月グランドホテル

〒061-2302  
北海道札幌市南区定山溪温泉東3-239

洞爺

TEL 0570-026571

#### ■湖畔亭

〒049-5721 FAX (0142)75-2753  
北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉7-8

#### ■ごきらく亭

〒049-5721 FAX (0142)75-2753  
北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉1-4

#### ■ザレイクビューTOYA 乃の風リゾート

〒049-5721  
北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉29-1

苫小牧・室蘭

TEL 0570-026576

#### ■新苫小牧プリンスホテル「和〜なごみ〜」

〒053-0045 FAX (0144)32-9228  
北海道苫小牧市双葉町3丁目2-8

#### ■室蘭プリンスホテル

〒051-0011 FAX (0143)22-5560  
北海道室蘭市中央町1丁目4-9

#### ■第二プリンスホテル室蘭ビュー

〒051-0022 FAX (0143)23-2088  
北海道室蘭市海岸町1丁目20-18

箱根・湯河原

TEL 0570-026577

#### ■和乃オーベルジュ きたの風茶寮

〒250-0631 FAX (0460)84-7026  
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原934-29

#### ■山翠楼

〒259-0314 FAX (0465)63-1116  
神奈川県足柄下郡湯河原町宮上673

#### ■湯河原 千代田荘

〒259-0314 FAX (0465)63-3014  
神奈川県足柄下郡湯河原町宮上637



撮影：本野 克比古



## 山が囁きかけてくる

誰にでも黄金の時間というものがある。  
それは例えば何かの記念日、  
久方ぶりの休日かもしれない。  
私の場合、その日を妻との旅にあてた。  
奥湯河原の宿、海石榴。  
深遠な山々からの緑のこだまが、  
静かに囁きかけて来るような気がする。  
一期一会の、この時の中で。





## 椿一輪の和みのように

その前に竹むと静謐が心に凛々と沁み入る。  
 山懐に抱かれた海石榴は、  
 やわらかな和の趣きで迎えてくれた。  
 屋号は、湯河原を代表する花木である椿の  
 古語からつけられたという。  
 やさしい、その一輪の花のように、  
 妻の微笑みが門をくぐってふわりとゆれた。  
 これからの寛ぎと安らぎを想って。



表門 / Main gate



ロビー / Lobby



## 静寂という音色に心を澄ませる

ここでは静寂にも音色があるのだと想う。  
 箱根外輪山の山並みを臨む本館の部屋から、  
 一段池の優美な池庭を  
 無心になつて見下ろしていると、  
 様々な音色が彩りをもつて優しくそよぐ。  
 深い緑の眩き、そよ風のさざめき、  
 池の中をゆうゆうと泳ぐ鯉たちのいざなひ。  
 いつしか心が愉悅に澄んでゆく。







## よりどりの和の彩を愉しむ一興

妻が尋ねると宿の方が丁寧に教えてくれた。

本館には趣やしつらえの異なる客室が二十四部屋も揃っている。

ゆったりお池の鯉を眺められる和室「白玉」

露天風呂とテラスからお庭を楽しめる和洋室「袖隠」

リビングルームや露天風呂を楽しめるベッド付和室「都鳥」

ベッドルームを備えた和洋室「有楽」

日差しが暖かく降り注ぐ和室「初嵐」

二方向に自然が広がるベッド付和室「大虹」

次の泊まりの愉しみが、またふくらんだ。







ご宴席“本阿弥”/“Honami” banquet room

撮影：水野 克比古



撮影：水野 克比古



撮影：水野 克比古



### 心にも旨き一献を 歓談と傾ける

雅も極めると質朴な華になるのだろう。  
 数寄屋風料亭宴席の広間を  
 眺めていると、つくづくそう想わせてくれる。  
 そこに虚飾はなく、和の粋が漂と漂う。  
 この雰囲気で開かれる宴がふと浮かんだ。  
 傾ける一献、そして料理の数々は、  
 目と舌は無論、心にもさぞかし旨からう。  
 私の言葉に、妻がそっと笑った。



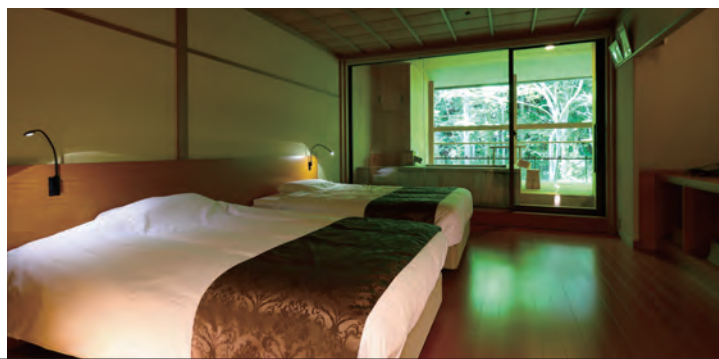


# 迎賓館



特別な時間を愉しめる  
格別な空間

まるで寿ぎと贅を形にしたようだ。  
迎賓館は千坪の敷地に全く異なる間取りの  
五室を配置した最上級の貴賓室。  
国内外の多くの要人も宿泊するという。  
調度品なども贅を尽くし、日本旅館の  
真髄も体験でき、三室は露天風呂付きで、  
よりプライベート感も豊かに愉しめる。  
特別な時間を過ごすための格別な空間で、  
旅人はどんな夢をみるのだろうか。







# その季節を謳歌する 月を友にする

そこには四季の移ろいが凝縮されている。  
迎賓館の広間と庭は和の粋だ。  
清々しい畳敷きから一幅の日本画のような  
庭を眺めるだけで至福が訪れる。  
縁に腰を降ろし、昼は季節の盛りを見るもよし。  
夜は月を友に心を漂わせるもまたよし。  
宴の華に酔うのも心地よいが、  
この趣の舞台には、独り酒もよく似合う。



ご宴席“長寿楽”/“Choujuraku” banquet room

撮影：水野 克比古



ご宴席“長寿楽”/“Choujuraku” banquet room

撮影：水野 克比古



ご宴席“萬歳楽”/“Manzairaku” banquet room

撮影：水野 克比古

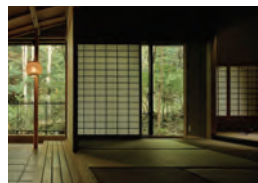


撮影：水野 克比古





客室「古金襴」/ "Kokinran" guest room



## 憧れが高鳴る夢一夜

京都の町家が現れたような驚きにふれた。  
まるで宿の中に宿があるような贅沢。  
迎賓館の一室である「古金襴」は、  
離れ作りの幾つもの部屋でしつらえられた、  
和の極みを放つ風雅漂う空間だ。  
その華やきには妻も想わず目を見張る。  
いつか、家族や友人たちと過ごしてみたい。  
そんな憧れが、ふと浮かんだ。



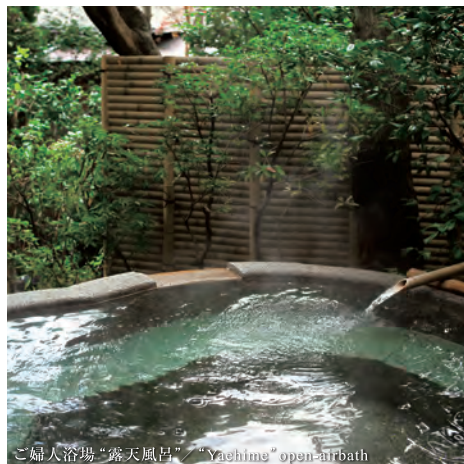


ご婦人浴場“八重姫”/“Yaehime” grand bath



## 癒しの暖の中で

湯煙に日常がとけてゆく  
趣にひたる。そんな解放感が漂う。  
伊豆石に縁取られた広い浴槽のある  
浴場からは庭園の眺望を愉しめ、  
その庭には自然石の露天風呂もしつらえてある。  
豊富な湯量、無色透明のやわらかな  
泉質の弱塩泉の美しい湯が心にもしみて。  
婦人用の着替え場所には  
個室ブースもあったわ、と妻が紅の頬で笑った。



ご婦人浴場“露天風呂”/“Yaehime” open-air bath





## 味の綺羅星を愛でる宵

夕食の懐石料理は四季折々で変わるといふ。  
京指物で飾りつけた先付で始まり、  
十三品もの料理が卓を飾る。  
器は椿の花の蒔絵がついた宿独自の椀や、  
料理にあわせた作家物もあるそうだ。  
目にも嬉しい味を堪能していると、  
妻が、また連れて来てくださいいねと云った。  
照れた拍子に、猪口がちりと鳴った。

